

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。詳細は市HPをご覧ください。

☎広報課 983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索

【凡例】 時とき・場場所・内内容・講講師・費費用（記載なしは無料）・対対象・定定員・持持ち物・注注意事項・申申込み（記載なしは不要）・問問合せ

5月1日号への掲載の申込みは、 3月22日(金)までに電子申請

（電子申請がご利用
いただけない場合
は、申込用紙を広報課
FAX 983・2719）

電子申請はこちら▶

(<https://logoform.jp/form/pqff/143867>)



※「電子申請」からお申込みください。

広報みしま	締切日
6月1日号	4月16日(火)
7月1日号	5月17日(金)
8月1日号	6月18日(火)



◀掲載基準などの詳細は
市ホームページ

文化

伊豆ジュニアプラス ～金管楽器を吹いてみよう～

☎3月30日(出)受付：午前9時30分、午前9時50分～11時40分 場アクシスかつらぎ・多目的ホール 内トランペットなどの金管楽器や打楽器の体験会。ミニコンサートもあります。※詳細は各種SNS 内新小学3～6年生※保護者同伴 定50人 持水筒、タオル 申・ 閏3月24日(日)までに伊豆ジュニアプラス 宛izu_junior_brass@yahoo.co.jp

たなかみどり 癒しの弾き語りコンサート

☎3月31日(日)午前9時45分（開場）、午前10時～11時 場生涯学習センター3階・講義室 内楽しいおしゃべりと心を癒すピアノ弾き語りコンサート。 閏中学生以上500円 定先着120人 閏みどり音楽工房 ☎・FAX 988・4140

スポーツ・健康

佐野美術館 友の会作品展

☎4月3日(火)～7日(日)午前10時～午後5時（最終日は午後3時まで） 場生涯学習センター3階・市民ギャラリー、多目的ホール 内日本画、陶芸、墨絵、洋画 閏佐野美術館友の会・中島 ☎975・0129

三島ジュニアバドミントンクラブ 会員募集

☎4月～令和7年2月毎週土曜日午前9時～正午 場東小学校・体育館 内年齢、技術に応じて講師が指導し、技術向上などを目指します。 閏年会費1万2,000円、入会金1,000円、保険料800円 内新小学3～5年生 定先着30人 閏室内運動靴 閏3月16日(出)より三島市バドミントン協会HP 閏三島市バドミントン協会・野田 ☎090・6808・6165

初心者弓道教室生募集

☎4月3日～7月10日毎週水曜日午後7時～9時（全15回） 場三嶋大社弓道場 閏8,000円 閏18歳以上 定先着20人 閏体操服、ジャージなど 申・ 閏3月27日(火)までに往復はがきに住所、氏名、生年月日、電話番号を記入し、木村喜博 ☎419・0113 函南町大土肥5・404 ☎070・2211・0016

ミニバスケットボール教室 生徒募集

☎4月20日～令和7年2月22日毎週土曜日午前9時30分～11時30分 場北上小学校・体育館 内基本練習、練習試合 閏1万2,000円 閏新小学4年生 定20人程度 閏3月15日(金)までに①学校・学年・氏名(フリガナ)②保護者氏名(フリガナ)③住所④緊急連絡先を 宛mishimacity.bbc@gmail.com 閏中村 ☎972・0886

その他

防災映画『「国TSUNAMI難」 3.11 東日本大震災』上映会

☎3月17日(日)午後1時30分（開場）、午後2時～3時30分 場佐藤塾（本町13・21） 内東日本大震災時、自衛隊が震災発生時の状況から惨状を収録した貴重なドキュメンタリー映像を上映 閏1,000円 閏30人 申・ 閏佐藤塾 宛satoujuku2016@gmail.com ☎090・3305・0995 ※当日受付可

'24 登山・ハイキング講座 受講生募集

☎3月23日(土)～令和7年3月23日(日)午後1時30分～3時30分 場錦田公民館1階・和室 内「安定した歩き方の基本と応用・地図および天気図の見方・山の危機管理・山の楽しみ方」などを主テーマに、1年かけて座学と実技で学びます。 閏4,200円※別途、交通費、宿泊費および避難保険料 閏22人 申・ 閏3月22日(金)までに根上 ☎971・9660

発達障がい者がやって来た ～お話し会 vol. 2～

☎3月31日(日)、4月7日(日)午後2時～5時（平日開催もあり） 場みしま未来研究所など 内発達障がい当事者が感じてきた生きづらさについて、絵を交えて経験談を聞き、議論します。 閏500円 閏発達障がいに興味関心のある人など 定15人 申・ 閏エルデ「erde」HPまたは「erde」代表・長倉 ☎090・7679・1977 ※詳細は「erde」HP

シニアのための

「みしまスマホ・サロン」参加者募集
☎4月22日(月)～9月23日(月・振休)毎月第4日曜日午後2時～4時 場市民活動センター4階会議室 内スマホの基本操作や相談 閏ネットでeシニア 閏1回500円 閏市内在住の60歳以上で全6回参加できるスマホ初心者 定10人※応募多数時抽選 閏スマホ 申・ 閏3月16日(出)までに件名「スマホ・サロン申込」、氏名、住所、スマホの種類を 宛msuma8718@gmail.com

【申込みの注意事項】

- ・紙面に限りがあるため、掲載できない場合や、内容を省略する場合があります。了承のうえ、お申込みください。
- ・掲載の可否は原稿の確認の連絡をもって代えるものとし、掲載不可の場合は連絡しません。
- ・掲載基準を必ず確認し、了承のうえでお申込みください。

歴史の小箱

No.429

現在の三島市域の成立

現三島市域は、江戸時代の一宿三十二村が明治二十二年（一八八九）に三島町・北上村・錦田村・中郷村の一町三村にまとめられ、その後、町村・市村間の三度の合併を経て、昭和二十九年（一九五四）に成立したものです。

明治二十二年、市制・町村制の施行に連動し、「明治の大合併」と呼ばれる大規模な合併が全国各地で行われました。

現市域では、五ヶ村（佐野村・徳倉村・幸原村・沢地村・志町田村）が合併した「北上村」、十ヶ村（谷田村・川原ヶ谷村・中村・竹倉村・玉沢村・塚原新田・市山新田・三ツ谷新田・笹原新田・山中新田）が合併した「錦田村」、十六ヶ村（梅名村・中島村・大場村・多呂村・北沢村・八反畑村・鶴喰村・青木村・新谷村・玉川村・堀之内村・平田村・松本村・長伏村・安久村・御園

村）が合併した「中郷村」が誕生しています。現在の市の中心地となっている三島宿も、このときに「三島町」へと改められました。なお三嶋大社の社家村は、これに先立ち明治十年に、三島宿へと組み込まれています。

さて、新たに成立した「北上」「錦田」「中郷」の村名のうち、「北上」は、「三島の北の上」であることから採用された名称といわれています。「錦田」は、川原ヶ谷村・五箇新田一帯の呼称であった「錦ノ郷」と、谷田・御門・夏梅木・小山・竹倉一帯の呼称であった「谷田郷」から、一文字ずつを採って名付けられたそうです。「中郷」は、同地域が「中ノ郷」と呼ばれていたことから、まず明治六年創設の学校に「中郷学校」の名が付けられ、その校名から村名を採るに至ったということです。

この一町三村が現在の市域への第一歩を踏み出したのは、それから二十八年が経った昭和十年のことでした。四月一日付で、北上村と三島町とが合併し、「三島町」になっています。

さらに六年を経た昭和十六年

四月二十九日には、三島町と錦田村とが合併しました。このとき両町村は廃止され、その区域に市制が施行されて、「三島市」が設置されることとなりました。

その際、「三島市」の名称が採用されたのは、この地に官幣大社三島神社（現三嶋大社）が鎮座し、「三島」の名が古くから広く知られていて、新市の名称としてふさわしいと考えられたためでした。両町村ともに「何ら異議なし」として、新市の名称に採用されています。

最後の中郷村と三島市との合併は、戦後、昭和二十九年に果たされました。四月一日に南小学校講堂で合併祝賀式が催され、現在の市域が成立しました。※「歴史の小箱」は4月から奇数月掲載となります。

（次回は5月1日号）



▶新市の名称について記された「覚書」

わたしの
おじいちゃんおばあちゃん

当番 さいとう かな

わたしのおじいちゃんとおばあちゃんは、とても元気です。
おじいちゃん、近所の人達と仲良くて、やさしく接してくれます。
おばあちゃんは、私が困っているときややんでいるときに話を聞いてくれて、アドバイスをくれます。
おじいちゃんとおばあちゃんは、私が学校や習い事に行くときに、「行ってらっしゃい」と言ってみ送りをしてくれます。
そんな、おじいちゃんとおばあちゃん、自まんの家族です。これからも、元気で長生きしてほしいです。



齋藤哲雄(77) 美津子(75)
齋藤花那(山田小6年)